

2018 年度 総合研究所特別研究員 研究活動報告

|       |  |
|-------|--|
| 氏名    | 河本 信雄  |
| 研究テーマ | 田中久重の生涯と久重が手掛けた技術の歴史   |
| 研究概要  | 江戸時代後期から明治初期にかけて、職人・技術者・起業家として活躍した田中久重の生涯は、その全てが明らかになっているとはいえない。また、久重は時計・からくり人形・電信機・銃砲など多くの技術製品を製作しているが、これらの技術の歴史も明確になっているとはいえない。この二つのことを調査・研究し明らかにしていく。 |

|                 |   |
|-----------------|---|
| 1. 研究活動の概要と研究成果 | <p>博士後期課程修了（2016年3月）後は、田中久重が手掛けた技術分野の調査・研究に関して、それまでの時計・からくり人形・電信機から大砲関連へと軸足を移した。久重が最幕末期に出仕した久留米藩における製造については調査・研究・発表がひと段落ついたので、ここ数年は主に佐賀藩出仕時代（久重は久留米藩出仕の前は佐賀藩に出仕していた）の大砲製造について研究している。大砲は裾野の広い技術なので、大砲の歴史のみならず、銃、冶金、製造設備にまで調査・研究対象の幅を広げている。このこともあり、日本銃砲史学会に所属し、知識の幅および交流の範囲を広くするように努めている。2018年9月には、その研究成果の一つとして、久重が携わったとされているいわゆるアームストロング砲の製造に関する論文を発表した。</p> |
| 2. 学術論文・学会発表等   | <p>①「幕末佐賀藩におけるいわゆるアームストロング砲の製造をめぐって（一） 田中久重と石黒直寛関係史料および文献よりのアプローチ」—序章その1—、『福岡地方史研究』第56号、福岡地方史研究会、2018年9月。</p> <p>②『田中久重と技術の継承 — 時計からからくり人形、そして電信機 —』、思文閣出版、2019年2月。</p> <p>③洋学史学会より2021年5月に刊行予定の『洋学史研究事典（仮）』（思文閣出版）における、「田中久重と技術」の項の執筆依頼あり。これに対する原稿を2019年3月末までに提出する予定。</p>  |
| 3. 今後の課題        | <p>いわゆるアームストロング砲の製造に関しては、2019年9月に「幕末佐賀藩におけるいわゆるアームストロング砲の製造をめぐって（二） 田中久重と石黒直寛関係史料および文献よりのアプローチ」—序章その2—を発表する予定にしているが、さらに調査・研究を深耕させて、論文続編を発表するのが課題となる。続編のテーマは「問題の所在」を予定している（論文投稿時期：2020年3月ごろ）。</p>  |